



## あづみん利用者が10万人

12/17 10万人目の三澤さんに記念品

乗り合いタクシーを中心とした市の公共交通システム「あづみん」の利用者が12月17日、10万人を突破しました。

10万人目は三澤和子さん（豊科高家）。市社協の樋口局長と市担当者が自宅を訪れ、ガラス製花瓶と回数券を贈呈しました。三澤さんは「買い物やお医者さんに行くのに利用しています。車がないので助かっています」と運行に満足している様子です。あづみんの利用者は開始時の約2倍と増加しており、1日の平均利用者（昨年11月）は約363人となっています。



## 安曇野から花園へ

12/3 ラグビーの中村光希くんが訪問

第88回全国高校ラグビー大会に県代表で出場した飯田高校ラグビー部主将の中村光希くん（三郷小倉）が12月3日、市長へ出場報告に訪れました。中村君は中学生の時に市長から「花園を目指して」と激励を受けており、「その約束が果たせた」と笑顔を見せました。中村君は、「下宿生活をするようになって、周りへの感謝の気持ちが大きくなった。将来は体育の先生となって地元に戻り、ラグビーや自分が先生から教えられたことを伝えたい」と熱く語りました。



## 再会に歓声

1/11 安曇野市成人式

2日前に降ったこの冬初の本格的な雪が残る1月11日、市成人式が安曇野スイス村サンモリッツで開催されました。本年対象者1,069人の代表による実行委員会が昨年の3月に組織され、開催日の決定や内容の検討など諸準備と、当日の運営に携わりました。この日は724人の新成人が出席し、出身中学のクラス毎などに分かれて写真撮影を行った後、式典が行われました。新成人代表の三好優さん（明科七貴）は「大変な不況の中、義務と責任を果たす大人になれるよう努力したい」と決意を述べました。引き続いて実施された交流会では、中学時代の給食を囲みながら、恩師や久しぶりに会う仲間と写真を撮り合うなど、楽しいひとときに笑顔を見せていました。

## 無火災の決意を新たに

1/11 市消防団出初め式

平成20年安曇野市消防団出初め式が1月11日、穂高会館で開かれました。この日は、消防団員と関係者など約750人が出席し、防災・防火の決意を新たにしました。丸山一雄団長は「団員の定数確保など、消防団を取り巻く環境は厳しさを増しているが、行政、地域社会全体が共にこの問題を真剣に受け止め取り組むことで、消防団と地域の発展につなげたい」と決意を語り、平林市長は「団員としての誇りと、職務の重要性を認識して心身の鍛錬に勤め、市民の期待に応えていただくよう望みます」とあいさつしました。式典では、無火災表彰や功績のあった団員表彰、また退団者表彰も行われました。式典後の分列行進では、消防喇叭隊の先導で、約600人の団員と消防車両20台による分列行進が行われ、きびきびとした行進を沿道の市民に披露しました。



## 住む人の誇りが大切

12/9 区長会主催・熊井明子さん講演会

エッセイストの熊井明子さんを迎えた市区長会講演会が12月9日、堀金総合体育館で開かれました。熊井さんは、イギリスを訪れた際に、電車で知り合った夫人が「移り住んでくる人がその土地に何を残せるかが大切で、その土地が何をもたらしてくれるかという期待ばかりではうまくいかない」と話していたことなどを紹介。故・熊井監督が「魂の帰る所」と称した安曇野のまちづくりについて、「住んでいる人が土地に誇りを持つことが大切」と強調しました。約300人の来場者は、熊井さんの示唆に富んだ話に熱心に耳を傾けていました。



## 手作りコマーシャルでPR

12/14 ふるさとCM大賞で優秀賞受賞

地域の魅力を紹介するテレビコマーシャルの出来栄を競う「第8回ふるさとCM大賞NAGANO」（長野朝日放送主催）の審査会が12月14日、長野市で行われ、あづみ野ビデオクラブ制作「安曇野の名産 天蚕糸」が、全83作品の応募の中から上位5作品に選ばれ優秀賞を受賞しました。

同クラブ副会長の山口裕さん（堀金烏川）は、「何十回と撮り直しに付き合ってもらった出演者の皆さんに感謝しています」と受賞を喜びました。作品は年間50回、同局にて無料で放送されます。